2013年8月号

8月15日(木)発行

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

温根内通信。203









温根内の夏…そして秋の気配

ドクゼリやホザキシモツケといった夏を代表する目立つ花が咲き乱れ、 華やかで鬱蒼としている印象が強いこの季節ですが、足を止めてじっ くりと目を凝らし、耳を澄ましてみると、そこには別の世界が現れます。 花々に群がる多様な虫たち、縄張り争いをするトンボ、子育てで大忙 しの鳥たちの羽音、ヨシやスゲの間でひっそりと咲く花…。

いつもと違う視点で湿原を感じてみると、新たな発見があるはずです。

~温根内ビジターセンター木道周辺の自然情報~



~温根内ビジターセンター周辺の花~



【ドクゼリ】 毒芹 セリ科

この季節の温根内周辺では 一番よく見られる花で、小 さな花が集まり、玉のよう な形になります。名前の通 り毒があるので注意。



【ホザキシモツケ】

穂咲下野 バラ科 ピンク色の小さな花がた くさん集まり穂状になっ て咲きます。温根内周辺 では林縁でよく見られま す。



【タチギボウシ】 立擬宝珠 ユリ科

薄紫の大きな花を下向き に咲かせるユリ科の植物 です。温根内周辺ではミズ ゴケ湿原と外回り木道のハ ンノキ林内で見られます。



【サワギキョウ】

沢桔梗 キキョウ科 温根内周辺では夏を代表す る青い花で、ヨシ・スゲ湿 原のスゲ周辺でよく見られます。花期が長いので、9月上 旬まで花を楽しめます。



【ツリフネソウ】

釣船草 ツリフネソウ科 やちまなこ周辺やハンノ キ林内などでよく見られます。花後の2㎝程の蒴花は触るとはじけて種を飛ばします。



【トモエソウ】

巴草 オトギリソウ科 花弁が歪んで巴形に見え ることから和名が付きま した。温根内周辺では鶴 居軌道跡とやちまなこ周 辺で見られます。

※温根内木道周辺で咲いている花を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるよう、ご理解とご協力をお願いします。

*表紙の写真 上:ドクゼリと木道 中左:ホザキシモツケ 中右:ノビタキ(幼鳥)のエサ採り 下:ドクゼリとヒメジジミ

○温根内木道周辺で確認された花(7月15日~8月14日) ※和名は五十音順

■アカネムグラ■アキカラマツ■アキノウナギツカミ■イケマ■イチゲフウロ■イヌタデ■ウド■エゾイチゴ■エゾイヌゴマ ■エゾイラクサ■エゾオオヤマハコベ■エゾカラマツ■エゾシロネ■エゾナミキ■エゾノカワヂシャ■エゾノコギリソウ■エ ゾノシモツケソウ■エゾノミツモトソウ■エゾノヨロイグサ■エゾノレンリソウ■オオウバユリ■オオダイコンソウ■オオバ コ■オオバセンキュウ■オオハナウド■オオバノヤエムグラ■オオマルバノホロシ■オオヤマサギソウ■オオヤマフスマ■ オトギリソウ■オニノヤガラ■カキツバタ■カタバミ■ガマ■カラフトノダイオウ■キツネノボタン■キツリフネ■キンミズ ヒキ■クサフジ■クサレダマ■クルマバナ■クルマユリ■クロバナロウゲ■ゲンノショウコ■コウゾリナ■ゴキヅル■コメツ ブツメクサ■サワギキョウ■シオガマギク■シナノキ■シャク■シロツメクサ■セイヨウタンポポ■セリ■タチギボウシ■タ ヌキモ■チシマアザミ■チドリケマン■ツリガネニンジン■ツリバナ■ツリフネソウ■ツルアジサイ■ツルコケモモ■トウヌ マゼリ■トキソウ■ドクゼリ■トモエソウ■ナガボノシロワレモコウ■ノハラムラサキ■バイケイソウ■ハコベ■ハシドイ■ ハンゴンソウ■ヒメジョオン■ヒヨドリバナ■ヒルガオ■ヘラバヒメジョオン■ホザキシモツケ■ホソバアカバナ■ホソバイ ラクサ■ホソバノヨツバムグラ■マツヨイセンノウ■ミゾソバ■ミツバ■ミツモトソウ■ミミコウモリ■ミミナグサ■ムラサ キツメクサ■メマツヨイグサ■モウセンゴケ■ヤブジラミ■ヤブハギ■ヤマハハコ■ヨブスマソウ

~温根内ビジターセンター周辺の鳥~

○旅立ちの準備

夏鳥たちの子育てもいよいよ実践的な訓練に入っています。今まではすぐにエサを与えていた親鳥も簡単には与えま せん。エサねだるヒナを導くように飛んでみたり、エサ採りを教えるように見せたりしています。ヒナたちは必死で 親鳥を追いかけながら生きる力を身につけなければなりません。…そして間もなく南への長い旅が始まります。



【ノビタキ(幼鳥)】 野鶲 ヒタキ科

子育ての様子がヨシ・ス ゲ湿原周辺で見られます。 エサ採りの様子も見られる ので、じっくりと観察して みてはいかがでしょうか。



【アリスイ】

蟻吸 キツツキ科 温根内周辺では唯一夏鳥の キツツキです。ハンノキ林 内で見られますが、目立た ない色をしているので非常 に見つけにくい鳥です。



【アオジ(幼鳥)】

青鵐 ホオジロ科 アオジもハンノキ林内で 子育て真っ最中です。葉っ ぱに隠れて見つけにくい ですが、可愛いヒナを見 ることができます。



【カッコウ】 郭公 カッコウ科 他の鳥の巣に托卵すること で知られています。この個 体はこの後ノビタキのつが いに激しく攻撃され、追い

払われてしまいました。

○温根内木道周辺で観察された鳥(7月15日~8月14日)※和名は日本鳥類目録第7版の順 ■マガモ■キジバト■アオバト■オオヨシゴイ(声)■アオサギ■タンチョウ■クイナ(声)■カッコウ■ツツドリ ■ハリオアマツバメ■アマツバメ■オオジシギ■トビ■オジロワシ■ハイタカ■アリスイ■コゲラ■アカゲラ■ハ シボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■シジュウカラ■ショウドウツバメ■ヒヨドリ■ウグイス■シマエナ ガ■エゾムシクイ■センダイムシクイ■マキノセンニュウ■シマセンニュウ■エゾセンニュウ■コヨシキリ■ゴジュ ウカラ■キバシリ■シマエナガ■ノゴマ■ノビタキ■コサメビタキ■キビタキ■オオルリ■ビンズイ■カワラヒワ■ ベニマシコ■アオジ■オオジュリン

○消えたオオウバユリ



【7月19日の状況】

今年も鶴居軌道跡にオオウ 判明。食害は今までにもあ バユリの群落が見事に花を りましたが、こんなに徹底 花の部分だけををちぎった ままいくと何年か後にはオ

咲かせました。ところがそ 的なのは初めてです。北海 れから1週間も経たないう 道各地でエゾシカによる植 ちにほぼすべての花が姿を 物の食害が報告されていま 消しました。調べてみると、すが、ここ温根内でもこの ような跡と周辺の足跡から、オウバユリが姿を消してし エゾシカの仕業である事が、まうかもしれません。



【7月25日の状況】

☆☆☆☆☆白然ふれあい行事が開催されました☆☆☆☆☆



〇「ホタルウィーク」

7月 17 日から 21 日の 5 日間の日程で、ホタルウィークが開催されました。 初日はパークボランティアの杉山氏、2 日目以降は前指導員の若山氏の案内で、 5 日間合計 289 名の参加者が釧路湿原のヘイケボタルを楽しみました。最初 にホタルについてのレクチャーを受けた後に木道を歩き、徐々に暗くなったハ ンノキ林やヨシ・スゲ湿原の中にホタルが現れ始めると、参加者からは歓声が あがりました。月明かりの影響で見えにくい日もありましたが、ホタルを観賞 するには概ね良好で、参加者はそれぞれに「ホタル狩り」を楽しみました。



■○「夏の湿原花ハイク」

■8月11日(日)、ビジターセンターの前指導員である若山氏の案内で、夏の 湿原花ハイクが開催されました。参加者は夏の釧路湿原の植物を観察しながら、 ちょっと早い「(私的) 秋の七草探し」を楽しみました。皆さん思い思いに(私 的)秋の七草を考えていました。また、ガマが見られるところでは、蒲鉾(か まぼこ)や蒲焼(かばやき)など「蒲(ガマ)」の名前の付くものや、その由 来などについての話を聞き、楽しく観察会を過ごしました。(参加者:10名)

☆☆☆☆☆イベントのご案内(9月)事前の申し込みが必要です☆☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込みはこちらまで☎0154-65-2323

♪初秋の湿原花ハイク

〔日時〕9月8日(日)10:00~12:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴) 初秋の温根内木道で植物などを観察しながら釧路湿原の秋を感じます。

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと)

⇒お申し込みはこちらまで**☎** 015-487-3003

▶体験講座~針穴写真講習会~

〔日時〕9月7日(土)10:00~15:00

〔定員〕8名(小学生は保護者同伴)

〔材料費〕 500円

〔場所〕 塘路湖エコミュージアムセンター (あるこっと)

針穴(ピンホールカメラ)を制作し、撮影・現像を行います。デジタルカメラとは異な る世界を体験してみませんか?

夏から秋にかけてはスズメバチが活発に 活動する時期です。木道を歩く際には黒 い服装をできるだけ避け、香水も控える ようお願いします。もしスズメバチに出 会ってしまったら、手で払ったりせずに 落ち着いて姿勢を低くし、やり過ごすよ う努めてください。それでも刺されてし まった場合は速やかにその場所を離れ、 ビジターセンターに連絡してください。

月刊 温根内通信 No. 203

発行:釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

T 085-0036

北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

開館時間:10:00~17:00(11月~3月は16:00まで)

休館日:毎週火曜日(夏季繁忙期を除く) 入館無料